

令和 7 年第 1 回定例会

一 般 質 問

古 殿 町 議 会

令和7年第1回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
3 月 11 日	1	野 崎 喜 彦	無 所 属
	2	鈴 木 隆	無 所 属
	3	根 本 重 一	無 所 属
	4	松 崎 法 通	無 所 属
	5	岡 部 淳 一	日 本 共 産 党

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	4 番 野崎 喜彦	1. 町に適した公共交通体系の今後について問う (町 長)	(1) 「デマンドバス運行事業」の運営主体は。 (2) デマンドバスの予約システム等を含めた運営方法並びにその運行範囲は。 (3) 民間バス、福祉・へき地バスの運行との連携・連絡はどうか。 (4) デマンド交通（バス）の利用料金等の体系は。 (5) 町内で営業されている「福祉タクシー」の運行については、どのように把握しているか。
		2. 令和7年度の事業推進について (町 長)	(1) 令和7年度中において「道の駅ふるどの拡張事業」は、どの程度までの進捗を見込んでいるのか。 (2) 「農業機械等導入事業補助」は、令和7年度で3度目の継続事業となるが、事業補助の内容と今後について伺います。 (3) 「宝くじ文化公演事業」の全容は。 (4) 少子高齢化・人口減少対策をどう進めるのか。 (5) 町民の生活安全対策（防犯・防災対応など）として、新たな取り組みはありますか。
2	3 番 鈴木 隆	1. 令和7年度主要事業を問う (町 長)	(1) 公共交通事業「デマンドバス運行事業」は実証実験を民間事業者へ業務委託とのことだが、その後の全体工程はどうか。 (2) 交流人口拡大事業「フルドノタイム」は町内外の多くの方々から好評を博しているが、本継続事業の経験を踏まえ、地方創生の観点から移住定住をどのように捉えているか。 (3) 道の駅ふるどの拡張事業、令和7年度予算の具体的な造成工事までの内容および竣工時期は。 (4) 林業施設維持管理事業では林道舗装が前年度同様であるが、今後も進めるのか。 (5) 簡易水道事業「排水管布設替工事」は継続事業として令和7年度は舗装本復旧の予定ではあるが、埼玉県八潮市の陥没事故を踏まえ、町全体の敷設替予定はどうか。 (6) 教育総務事業「スクールバス運行業務委託」はスクールバスの運行委託と理解しているが、公共交通最適化業務の体系を構築する場合、委託先は一元化するのか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
2	3 番 鈴木 隆	2. 町消防団組織を維持するための対策、対応について (町 長)	(1) 現在、町消防団員は定員に対して、どのくらいの実人員で運営しているか。 (2) 団員を確保するためにどのような活動をしているか。 (3) 人員不足に対して、その状況を補える機材等の充実は図られているのか。 (4) 消防車両運行のためには準中型免許が必須であるが、持たない団員に対しての手立ては。 (5) 団員不在の状況で火災発生時、機能別団員で消防車両等を運行してよいと考えるか。 (6) 団員減少の状況下、災害等対応のために、どのように組織運営すべきと考えるか。
3	1 番 根本 重一	1. 本町の防災、減災対策について (町 長)	(1) 本町のインフラ老朽化は、どのような現状か。 (2) 土砂災害が発生する恐れのある場所の対策は、どのような現状か。 (3) 本町の孤立する可能性のある集落についての対策は、どのような現状か。 (4) 災害協定の現状は。 (5) 災害時の情報確保の方法は。 (6) 災害時のトイレ確保は十分か。 (7) 主な災害用物資および機材等の備蓄状況はどのような現状か。 (8) 避難所環境国際基準「スフィア基準」の認識は。 (9) 洪水ハザードマップの整備状況は。 (10) 自主防災組織の状況と課題は何か。
4	9 番 松崎 法通	1. 道の駅建設と第6次中山間地域直接支払事業について (町 長)	(1) 建設物価が高騰している中、事業費に対する財政面をどのように考えているのか。 (2) 新しい道の駅は規模も大きくなるが、経営は今後も現在と同じく町、JA、商工会を中心に経営するのか。 (3) 出荷者の高齢化が進む中、魅力ある品揃えを保つため、対策をどのように考えているのか。 (4) 第6次中山間地域直接支払事業の概要と、今後わが町が直面する農地のあり方に対する対策を伺います。

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	9 番 松崎 法通	2. 町管理施設のあり方を問う (町 長)	(1) 大網庵においての、宿泊状況やリモートワークなどの利用状況はどのようになっているのか。 (2) 敷地内除草などの屋外環境整備をどのように行っているのか。 (3) 役場庁舎前の駐車場に車止めブロックを設置するべきではないか。 (4) J A側からの通路の段差解消と、手すり設置をするべきと思うが、考えを伺います。
5	7 番 岡部 淳一	1. 大規模災害頻発を受けての対応策の現状は (町 長) 2. 訪問介護などの地域福祉の現状と今後の取り組み (町 長)	(1) 町民の災害に対しての備えとして、普段の注意喚起はどうしているのか。 (2) 災害対策として継続的に取り組んでいることは何か。 (3) 実質的な物資・機材などの備蓄状況と管理体制はどうしているのか。また備蓄場所は。 (4) 避難所が7か所設置されている。冬場の空調を含めいつでも対応は可能か。 (5) 孤立集落の可能性数が公表されているが、対策は講じているのか。 (6) いずれの対策・対応も手順が大事。初期対策の連絡網の整備と防災訓練の状況は。 (1) 社協事業に補助金を交付しているが、その事業内容と金額は。 (2) 訪問・通所介護事業の収支バランスに問題はないか。今後の見通しは。 (3) 利用者の増減と支えるヘルパーさん、職員の確保に問題はないか。 (4) 団塊の世代が今年、後期高齢者となる。この状況をどう捉えているのか。 (5) 介護事業の行きづまりは国の基本報酬引き下げによるものだが、その認識は。 (6) わが町においても収支の赤字もあり得る。その場合は町が支援となるのか。 (7) 認知症対策で補聴器の役割が明らかとなった。補聴器購入に補助を出せないか。 (8) 「ふるどの荘」の増築はどうなっているのか。